

大腸内視鏡検査の前処置における患者の負担感の軽減を試みて

社会保険大牟田天領病院 内視鏡室

看護師 ○木下美智子・片山裕美子・乙須 雄二
上田 良子・徳永 静香・濱地 千恵
宮本 貴裕・鈴木 明美・中島 洋子
医師 松村富二夫・柴田 雄司

【はじめに】

当院では年間 700-800 例程度の全大腸内視鏡検査を行っている。地域上比較的高齢者が多く、また基礎疾患を抱えている場合もあり前処置として使用している経口腸管洗浄剤ポリエチレングリコール（ニフレック®）を 2000ml 内服することが困難な場合がある。しかし、この前処置が不十分な場合には、正確な診断や、安全な治療を行うことが困難になる。そこで、私たち内視鏡室看護師は患者が少しでも安楽で快適な検査を受けていただくために 2013 年に発売されたマグコロール製剤（モビプレップ®）を 1000ml 内服し、脱水予防としての飲水 500ml の合計 1500ml を行い必要があれば飲水を追加したうえでの医師の評価と患者の感想をアンケート法にて調査、解析を行った。

【目的】

大腸内視鏡検査の前処置としてのニフレック®とモビプレップ®を比較し有用性を検討した。

【対象、方法】

平成 26 年 9 月から 11 月

ニフレック®内服群(N 群)50 人 モビプレップ®内服群(M 群)50 人

検討項目は、大腸の実際の洗浄効果、排便の回数、前処置に要した時間、有害事象の出現、患者の感想を N 群と M 群について無記名のアンケート調査を行い提出は任意とした。

【結果】

ニフレック®とモビプレップ®を比較検討した結果、モビプレップ®の 1000ml 内服のほうが飲みやすく副作用の出現も少なかった。また、前処置完了時間（検査開始できるまで）の短縮が図れ、途中でお茶や水の飲水をすることで口渴などに対処ができた。

【考察】

両群間では服用した洗浄剤の量はモビプレップ®群が有意に少なかった。洗浄の効果と洗浄に有する時間は両群間では同等であった。味に関しては、ニフレック®にやや好ましい意見が多かったものの、飲みやすさについてはほぼ同等であった。

【結語】

今回の調査ではモビプレップ®のほうがニフレック®と比較してより少ない量での前処置が可能であり、洗浄効果がほぼ同等であったことから、患者にとって負担感の軽減につ

ながる有用な選択肢になりうると思われた。今後も、検査に対する十分な説明と不安や負担感をより少なくするように、患者のニーズに合わせた安全な内視鏡検査を提供していきたい。

【連絡先：〒836 - 8566 福岡県大牟田市天領町 1 - 100 TEL (代)0944 - 54 - 8482】